

日ASEAN友好協力特別首脳会議共同議長記者発表記録

(令和5年11月17日(日曜日)14時19分 於:ホテル・オークラ東京)

(岸田総理)

先ほど、日本ASEAN友好協力50周年特別首脳会議を成功裏に終えました。まずは、共同議長であるジョコ大統領はじめ各国首脳及び代表団の皆様に感謝申し上げます。

歴史的節目に相応しい充実した議論を行い、成果文書として、「共同ビジョン・ステートメント」と「実施計画」を採択しました。

「共同ビジョン・ステートメント」は、日ASEAN関係の将来の方向性と、新たな協力の姿を示します。「信頼のパートナー」との副題のとおり、半世紀にわたり築かれた「信頼」こそが、我々の関係の根幹をなすものです。

全ての国が平和と繁栄を追求でき、民主主義、法の支配、良い統治、人権と基本的自由の尊重といった原則が守られる世界、これが我々の目指す世界のビジョンです。

その上で、我々は、第一に、「世代を超えた心と心のパートナー」として、長年の信頼関係を次世代に繋ぎ、強化していきます。

第二に、「未来の経済・社会を共創するパートナー」として、共通の課題への解決策を見出していきます。

第三に、「平和と安定のパートナー」として、自由で開かれたインド太平洋を推進します。

これら三つの柱に沿って、具体的協力を掲げるのが、「実施計画」です。項目の数は130にのぼり、双方の協力への意欲を示しています。

そして日本は、それぞれの柱に対応して次の具体的なアクションを打ち出しました。

第一に、知的・文化交流・日本語パートナーズ等を含む包括的な人的

交流プログラムとなる「次世代共創パートナーシップ」を立ち上げます。また、若手ビジネスリーダー等の双方向の交流を更に推進します。

第二に、連結性強化、アジア・ゼロエミッション共同体構想の実現を含む気候変動対策、中小企業・スタートアップ支援、を重点に、官民の連携に取り組みます。オファー型協力などのODAの新しい取組も活用し、民間投資を一層後押しします。さらに、「日ASEAN次世代自動車産業 共創イニシアティブ」を立ち上げました。

第三に、「ヒロシマ・アクション・プラン」に基づく核軍縮・不拡散、司法分野協力、女性・平和・安全保障、サイバーセキュリティ、防衛交流・協力、政府安全保障能力強化支援の展開を進めます。

皆様、各地で分断と対立が深まり、世界が複合的な危機に直面する中、日本は、「自由で開かれたインド太平洋」の要であるASEANと共に、これに立ち向かって参ります。相互の強固な信頼に基づき、新たな課題に取り組み、地域の平和と安定に貢献し、そうして皆が繁栄を享受し、人間の尊厳が守られる世界をつくっていきます。

今回の50周年記念会合は、日本とASEANが、これまでの歩みを振り返り、互いの「今」を見つめ、共通の未来について語り合う最高の機会になりました。その集大成である本日、将来の協力の姿を世界に力強く示し、次の50年に向けて新たな一歩を共に踏み出せたことを誠に喜ばしく思います。そして、この信頼の絆を、しっかりと次世代に繋いでいきたい、そのように心から思います。御清聴ありがとうございました。

(了)